

女性が働き続けられる社会づくりを

小林 正人 議員  
(自民みらい / 鈴鹿市選出)



問

就業意欲のある女性が働けない一番の理由は、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」が実現できないことだと考えます。フレックスタイトムや裁量労働制などのフレックスワークを企業が導入するよう、県が積極的に働きかけること、ワーク・ライフ・バランスが実現できるものと考えますが、いかがですか。

答

女性が働き続けるためには、フレックスワークのような多様な働き方を選択できる環境づくりを進めることが必要と考えており、優れた取り組みを行う企業の表彰などを行っています。



今後、女性が就労継続できる社会づくりに向けて、企業の取り組みを支援していきます。その他の質問事項  
○低年齢児保育の充実 ほか

医療費助成制度での現物給付の実施を

森野 真治 議員  
(新政みえ / 伊賀市選出)



問

少子化対策として、子どもへの医療費助成の現物給付化が県民から求められています。

4月9日に本県を含め10県で「子育て同盟」が結成され、その宣言文の中には「真の子育て支援策を模索し、実践する」とあり、10県のうち8県で現物給付が実施されています。本県でも実施すべきと考えますが、いかがですか。

答

本県では昨年9月に、市町の医療費助成に対する補助対象を小学6年生の入院まで拡大し、10県の中でも広い範囲で助成を行っていると考えています。



現物給付は、国民健康保険の国庫負担金などの減額措置で市町の負担が増加するなどの課題があり、財源の議論など国の動向を注視しつつ、市町とともに慎重に検討していきます。その他の質問事項  
○防災対策 ほか

北勢バイパスの整備促進を

津田 健児 議員  
(自民みらい / 四日市市選出)



問

本県の道路整備は、道路改良率が全国平均よりも低いなど遅れており、特に北勢地域の交通渋滞はひどい状況です。

現在、整備が進められている北勢バイパスは、交通渋滞の緩和や内陸部の地域開発促進の効果などが期待され、地域の皆さんにとって早期の完成が望まれています。

答

北勢バイパスの整備状況と今後の見通しをお聞かせください。北勢バイパスで事業化されている区間については、早期事業化に向け関係市町と連携を密にしながら、あらゆる機会を通じて国に対し強く働きかけていきます。



北勢バイパス

その他の質問事項  
○男女共同参画社会 ほか

もうかる農業を支える人材育成

藤田 宜三 議員  
(新政みえ / 鈴鹿市選出)



問

昨年の質問の折に、「もうかる農業」を支えるという観点で、県の農業大学校において、マーケティングに関するカリキュラムの導入を含め、農業の6次産業化に資する人材育成を目指し、その内容を充実させる必要性について提案をいたしました。その後、農業大学校の取り組みについてどのように見直しをしたのか、お伺いします。

答

昨年9月から、マーケティングスキルをもつ農業者の育成を目的とする公開講座を開設しました。また、今年度から学生を対象とするカリキュラムに、マーケティング戦略などを学ぶ科目を新設しました。今後も、農業大学校における人材育成の取り組みの充実を図り、「もうかる農業」を実践できる人材の育成に努めます。



三重県農業大学校

その他の質問事項  
○多文化共生と外国人の教育支援 ほか